

現代アートの入り口に

青葉区で25日から

ワークショップ第1弾は、県立上矢部高校美術陶芸コース出身のアーティスト、浅井裕介さんがプロデューサーを務める「テープ森をつくらう」。カラーテープを同ギャラリー内外の壁に貼り付け、木や花、植物などを描く。昨年、子ども向けに開かれ好評だったため、今回は中学生以上を対象に行う。午前10時～午後4時で、作品は7月3日まで展示されるという。

ほかには、一枚の紙から帽子を作る「アート・ハッ

8月に開幕する現代美術の国際展「ヨコハマトリエンナーレ2011」を前に現代アートに親しんでもらおうと、「横浜市民ギャラリーあざみ野」(横浜市青葉区あざみ野南)で25日から7月3日まで(27日休館)、「あざみ野ワークショップ・ウィーク」が初めて開かれる。アーティストと共に体験できるイベントがめぐる押しの日間だ。

ワークショップ週間初開催

ト」、レコードやCDを素材に作品を生み出す「音楽の漬物」。「ヨコハマトリエンナーレ2011総合ディレクターに聞く」、ダンスで物と言葉の関係に迫る「相手がいるから私がしゃべる」の四つのワークショップ。同ギャラリーは「現

代アートを楽しむ入り口になれば」と話している。いずれも参加無料。必要事項を記入し、はがきかホームページへ、直接来館して申し込む。「テープ森をつくらう」は締め切りを過ぎているが、定員に空きがあり電話で受け付ける(先着順)。問い合わせは同ギャラリー☎045(910)5656。



昨年参加した子どもたちは夢中になってカラーテープで「森」を描いていた(横浜市民ギャラリーあざみ野提供)